



六甲山国立公園

鳥取県

若桜鬼ヶ城

真庭

津山城

美作

兵庫県

岡山県

新見

高梁

備中松山城

備中高松城

赤穂城址

岡山後楽園

鬼ノ城

岡山城

広島県

福山

福山城

笠岡

小豆島

67 津山城跡

--- 100名城 ---
2020.11.21



別名・鶴山城 (かくざんじょう)

津山城は日本三大平山城のひとつです。
往時は外郭を含めて、広島城の76棟、姫路城61棟をしのぐ77棟の櫓が建ち並び現在は鶴山公園 (かくざんこうえん) として桜の名所となっており、日本さくら名所100選にも選ばれています。



津山市へは出張で2回ほど訪れた(津山松下電器)と思います。もちろんお城の存在など知りません。本当に広大な敷地には驚かされます。77棟の櫓見たいものですねえ～。

一口メモ

---平山城と連立式平山城について---

- ・平山城: 平野の中にある山や丘陵に築城された城
#津山城、姫路城、松山城
- ・連立式平山城: 連立式というのは天守の縄張り型式のひとつで、天守と小天守や櫓を空から見ると四角になる
#姫路城、松山城、和歌山城

上空から見た津山城 (名城ガイドより)



68 備中松山城

びっちゅうまつやまじょう
--- 100名城 ---
2020.11.17



別名:高梁城(たかはしじょう)

現存天守12城の一つで唯一の山城です。臥牛山(標高487m)から南稜線にかけて遺構が残っており、そのうち一つである小松山城跡に現存天守(標高430m)があります。この城は戦に備えて建設された「詰め城」であり通常はあまり使われていなかったようです。



お城はパンフにあるように、天空の城塞としても有名です。

お城から山を下りた麓には一部武家屋敷の塀部分がきれいに整備されており、福井の誇る一乗谷城の城下町復元の風景が思い浮かびます。



麓城下町の武家屋敷復元

備中松山城の復元絵図(登城口の看板)

パンフレット

天空の城塞「備中松山城」—— 山の頂より今も見つめる悠久の刻。

69 鬼ノ城

きのじょう

--- 100名城 ---
2020.11.20



別名: 鬼の城山 (きのじょうざん)

鬼の城の歴史は古く、時代は大和朝廷に遡る。白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗した後、大和朝廷は倭(日本)の防衛のために、対馬～畿内に至る要衝に様々な防御施設を築いている。鬼ノ城は史書に記載が無く、築城年は不明であるが、発掘調査では7世紀後半に築かれたとされている。

白村江の戦い

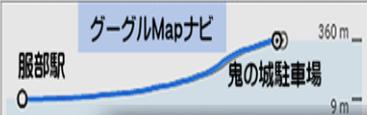
663年に朝鮮半島の白村江という場所での海戦(くそんこうのたたかい / はくすきのえのたたかい)。日本と百済の連合軍と、唐と新羅の連合軍が戦いました。日本は当時大国だった唐の軍に敗れ、朝鮮半島は新羅によって統一されます。



FB - 093

鬼の城へは最寄りのJR服部駅からは5.6Kmあり、公共交通もなく、行くのには悩みましたが結局歩くことにしました(無人駅でタクシーなどありません。)

途中までは平坦な道で難なく行きましたが、登りになると矢張りキツク、3000m手前からは500m間隔で「がんばれ」的な立看板(鬼の城駐車場まであと***m)が設置されており、大いに励みとなりました。ありがたいです。高低差は350mあります。結局行きは2.5H・帰りは1.5Hでした。



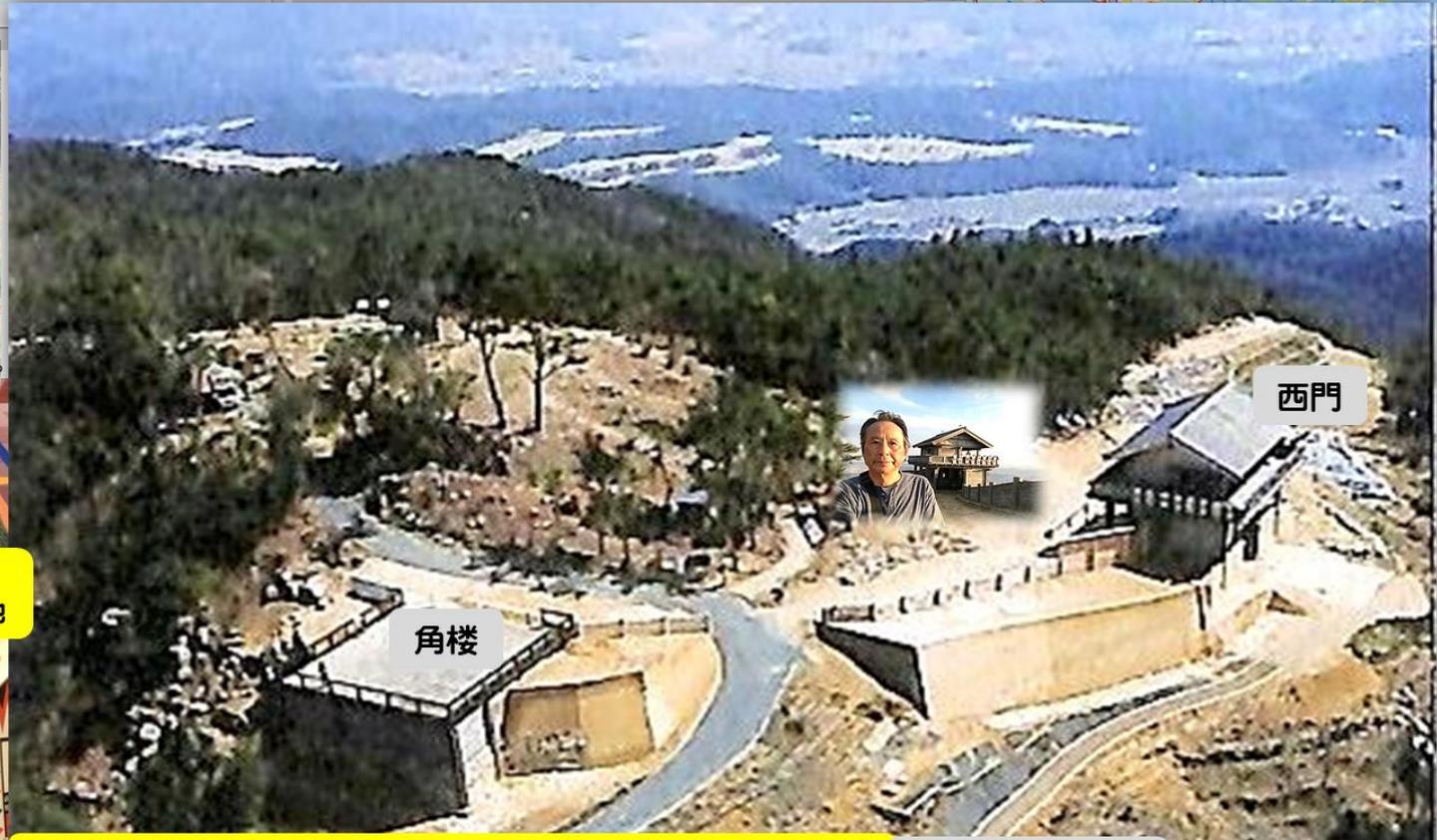
【鬼の釜】
地域の伝承で、鬼ノ城に住む温羅(うら) が生贄を茹でた釜と言う。



山一面の
広大な陣地



西門のジオラマ



西門

角楼

標高約400mの鬼城山山頂付近に築かれた古代朝鮮式山城。ガイドブックより

70 岡山城

--- 100名城 ---
2020.11.16

別名: 烏城、金烏城



岡山と云えば岡山城に隣接する大名庭園・後楽園が有名で、水戸・偕楽園、金沢・兼六園とともに、日本三名園として並び称されています。今回名城巡りで後楽園も見学したかったのですが、あまりの広さと時間の関係上断念しましたが、四国方面への名城巡り時には岡山駅で乗り換えが必須なので、その時に時間を見つけて行くつもりで今から楽しみです。



FB - 094



お城1Fには何とお土産屋・喫茶店・体験コーナー「備前焼工房/着付け(お殿様、お姫様)」などがあり、城内特有の物々しさが無く楽しさがありました。



DigitalDaiku
2D城郭データ(画像)



焼失前の岡山城天守

焼失前の岡山城天守(1934年)



城内1Fのお店(お土産屋・喫茶店・体験コーナー「備前焼工房/着付け(お殿様、お姫様)」)

171 備中高松城

--- 続100名城 ---

2020.11.21



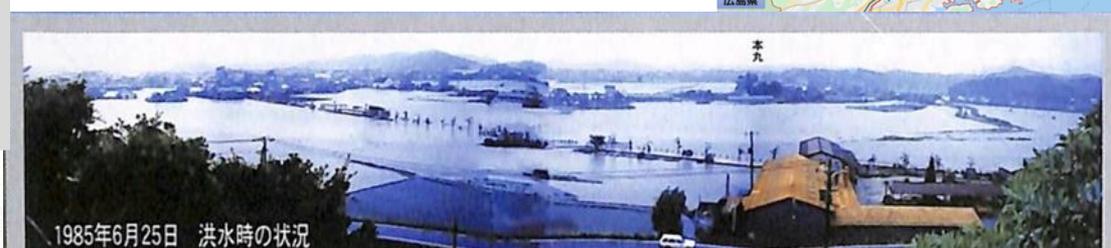
備中高松城の戦いは、1582年羽柴秀吉がこのお城を攻略した戦いで、高松城の水攻め(水責め)とも呼ばれて有名です。忍城の戦い、太田城の戦い、とともに「日本三大水攻め」のひとつに数えられています。

水攻めの最中に主君である織田信長が明智光秀に討たれる本能寺の変が起きた。その報を聞いた秀吉はただちに毛利方と和睦を結んで、城主清水宗治の切腹を見届けた後、明智光秀を討つために軍を姫路へ引き返した(中国大返しと言われている)。



日本3大水攻めの城

- ・備中高松城(続100名城No.171): 羽柴秀吉による「水攻め」・後の「中国大返し」でも有名
- ・紀伊太田城(和歌山市): 羽柴秀吉による「太田城水攻め」で有名---総延長6Kmの堤
- ・武蔵忍城(むさしおしじょう(埼玉県行田市・続100名城No.118): 石田三成を大将とした戦い。
[長さ28kmもの堤でも落城せず、小田原城の落城後に開城したため「忍の浮き城」という別称がある。]



当時の水攻めを想定すると、1985年の大水害と同程度の水没が想像再現できます。



上は1985年の大雨時の写真。高松城を残して周辺は水没している。
下は同じ位置から1999年に撮影した写真。

(写真提供: 林 信男氏)



一勇斎国芳画「赤松之城水責之図」、3枚揃大判錦絵 [説明] 江戸時代の錦絵図。高松城を赤松城として記されている。(東京都立中央図書館所蔵)

